

予算特別委員会

平成30年度補正予算・令和元年度補正予算案の審査内容をお伝えします



委員長 佐藤 孝志

議案第1号
専決処分した事項の報告及び承認を
求めるの件
専決第10号
平成30年度つがる市一般会計補正予
算(第8号)

未来プロジェクト事業補助金

△60万6千円

問 この事業内容は、今後も継続する予定か。
答 これは6次産業化に取り組む団体や個人に対し、商品パッケージのデザインや商談会などの経費を補助するもので、パッケージについては2団体、商談会については3団体の実績があった。今後も6次産業化の推進を図るため継続していく。

つがるU-Jターン起業支援事業補助金

△30万円

問 市民の治安を脅かすような事案などあったか。
答 10件の漂着船があったが、乗船者はおらず、危険物の搭載もなかった。

委員 佐々木 敬藏

問 事業内容と実績は。
答 大都市圏の居住者がつがる市に移住して起業した際に補助する事業で、実績はなかった。

消防施設費

△818万円

問 北消防署建設の進捗状況は。また、女性消防士の受け入れ体制はあるか。
答 工事請負契約の議決後建設を開始して、工期は来年6月末までを予定し、9月供用開始予定である。車力出張所や避難場所を備えた複合施設であり、女性消防吏員はいないが、今後、女性を採用した場合に対応できるよう北消防署と稲垣分遣所に女性専用の仮眠室などの設備を整備する。

委員 成田 博

海岸漂着物等地域対策事業費補助金

485万3千円

委員 齊藤 渡

問 出産育児一時金
答 現在の計画では蓮川および柴田地区の整備を進め、未着手である森田、菰槌、川除、筒木坂、中田、相野地区については合併処理浄化槽による個別処理が効果的であると判断している。事業自体の見直しは今のところ考えていない。

事業費

△7792万1千円

問 人口減少が進み、地域に人がいなくなるのと下水道事業の存続が難しくなるのでは。事業自体の見直しは考えているか。
答 現在の計画では蓮川および柴田地区の整備を進め、未着手である森田、菰槌、川除、筒木坂、中田、相野地区については合併処理浄化槽による個別処理が効果的であると判断している。事業自体の見直しは今のところ考えていない。

委員 佐々木 直光

問 減額した理由は。
答 過去5年間の実績の平均を勘案して50件を見込んでいたが、26件と実績が少なかったため。

問 人口減少を克服するために子育て支援策の拡充が必要と思うが、市の考えは。
答 財源の確保もしながら今後、総合戦略の中で検討していく。

議案第8号
令和元年度つがる市一般会計補正予算(第2号)案

道の駅もりた施設費 備品購入費

1489万1千円

問 詳細な説明を。
答 合併前、旧森田村において整備していた冷蔵庫・冷凍庫が老朽化により、修理での対応が難しくなってきたため、更新するものであり、あわせて消費税軽減税率対応のレジスターも購入する。

委員 伊藤 良二

問 売り上げに対する設備費が高いように思うが、妥当な金額か。
答 道の駅もりたは市をPRし、観光情報の発信、農産物直売所などを備えた拠点施設である。冷蔵庫は公共の備品であり、安心して農産物・食料を提供するためにも購入については妥当なもの判断している。

問 出産育児一時金
答 現在の計画では蓮川および柴田地区の整備を進め、未着手である森田、菰槌、川除、筒木坂、中田、相野地区については合併処理浄化槽による個別処理が効果的であると判断している。事業自体の見直しは今のところ考えていない。

△1009万6千円

委員 成田 克子